

平成 18 年 11 月 25 日

県内市町村長 様

(社) 秋田経済同友会
代表幹事 佐藤暢男
伊藤碩彦
御牧平八郎

松枯れ対策の強化についての要請

当秋田経済同友会では、昨年6月に「秋田のみどり再生運動」をスタートさせ、これまで「松枯れ再生募金」運動、松くい虫による被害木の伐倒、並びに植樹活動、「みどりの再生フォーラム」などを展開して参りました。この間、国や県有地においては一定の景観改善が進みましたが、国定公園・男鹿半島はじめ日本海沿岸部の民有・私有地においては、手付かずの状態白骨化した枯損木が放置されています。

一方、最近に至っては、にかほ市で広葉樹の大敵「ナラ枯れ」被害が確認され、その拡大が懸念されています。また、林業行政面では不間伐、林業担い手の減少などにより、スギ人工林の荒廃が指摘されるなど、仔細に検証すると、全国に誇る「みどり豊かな秋田県」が危機的な状況にあります。

そこで、当同友会としては今後も当初目標である「秋田のみどり再生運動」を軸とした「松枯れ再生」対策を推進して参りますが、各自治体におかれましてはこの趣旨にご賛同の上、松枯れに関する対策費を来年度予算に反映させて頂けますようお願い致します。財政難の折、市町村個々の予算計上は非常に厳しいとは承知しておりますが、よろしくお願い致します。

本県では来年「秋田わか杉国体」、翌年春には「全国植樹祭」が開催されます。このままでは、全国から集まる人々から無策が嘲笑される恐れもあり、松枯れ被害地の景観改善が急務であります。

なお、当同友会では県民募金の浄財をベースに上記事業の継続をして参りますが、何せ一団体では事業推進に限界があります。伐倒や植樹など貴市町村エリアで活動可能な区域があれば仲介の労、サポートを頂ければ幸いです。